

# 一般質問 市政を問う



6月19日から21日までの3日間、15名の議員が登場し、新市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただしました。

各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



薩摩 博  
(よねしる会)

## 住吉町住宅 建てかえ事業

**質問** 住吉町住宅は老朽化が一段と進み居住環境が悪く建てかえが急務です。木造化による建てかえは地元木材業者や大工、工務店初め住宅関連業者にも大きな波及効果があり市の活性化にもつながると思うが。

**答弁** 住吉町住宅は、建築後50年を経過し、老朽化も著しく入居者に早期に安全な住居を提供し、安心してもらうため、現在地に150戸程度の建設を目標に考えている。現在の敷地面積では、木造による150戸の建設は極めて難しく、耐火構造で建設したいと考えている。事業の推進には、コスト縮減と木都の地域特性を生かす、できる限り木を取り入れて検討したい。また産学官からの提言の研究テーマなどを踏まえ、地元産業の波及効果を考慮し、木のぬくもりを感じる居住環境の整備に努めたい。

## 第四小改築と 二ツ井統合小建設

**質問** 浅内小が完成し、次の学校改築順位は第四小学校に決定している。前教育長は、「教育委員会としては、間をおかずに改築を進めたい」と答弁しているが教育長の考えは。また、二ツ井統合小再編計画が承認されているが、建設にかかわる概要は。

**答弁** 教育委員会では、湊城三校の統合に伴う学区の見直しや共同調理場の再編について、事務レベルで調整している。第四小学校の改築についても、できるだけ早期に取りかかれるよう努めていく。二ツ井統合小学校建設については、平成15年3月に了承された小学校再編計画に基づき、1校体制に向けた統合小学校建設用地の選定について、旧二ツ井町議会議員協議会で意見集約をみている。今後は、市議会の意見を伺いながら、早期に建設できるよう条件整備に努めていく。

薩摩議員のその他の質問事項  
・新市の財政状況について  
・木材振興策について